

Structure Kansai No.130 2016.7

JSCA関西ホームページに会員皆様の意見、質問に答えるコーナーを開設しております。ご活用下さい。

2016年度(一社)日本建築構造技術者協会関西支部支部総会 5月19日開催



小倉支部長の挨拶



構造デザイン発表会 発表風景



関西支部 支部長

「支部の活動」
清水建設株式会社
小倉 正恒

4月の熊本地震で落命された方々のご冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞い申し上げます。

5月19日支部総会では昨年度事業・決算、今年度事業計画・予算が承認されました。総会後には支部構造デザイン発表会が、15名の発表者、200名超の参加者を得て賑やかに開催されました。会員各位のご協力、ありがたく思います。

昨今、非構造部材、杭、長周期地震動など構造設計者が取り組むべき課題が益々増えています。さらに熊本地震で見られた極稀地震の連発、異常に大きな上下動などの新たな事象が、構造設計業務の内容に影響を及ぼす可能性があります。注意深く見守りたいと思います。

現在、会員の高齢化問題がJSCAの課題の一つになっています。関西支部では、若年会員の増強を念頭にまずは学生を含む若い人たちに対し、関西版・全国版構造デザイン発表会などのJSCA活動への参加呼びかけを、地道に積極的に行っていきたいと思っております。皆さまの大いなるご協力をよろしくお願いいたします。



関西支部 副支部長

「設計クライテリア」
株能勢建築構造研究所
横田 友行

昨年度に引き続き小倉支部長の下、副支部長として、微力を尽くす所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

4月の熊本地震では、14日の前震と16日の本震で、益城町において震度7を観測しました。前震では建物の倒壊を免れたにも関わらず、本震で建物が倒壊して犠牲になられた方がいたと聞いて、とても残念に思いました。

私たちが行っている耐震設計や耐震補強設計では、震度6強の地震を「極めて稀に発生する地震」として、「建物の倒壊を防ぎ、人命を守ることを設計クライテリアとしており、「極めて稀に発生する地震」を連続して2回以上経験した場合には、建物の倒壊を防ぐことができない可能性があることを、建物の所有者や使用者に理解してもらう努力が不足していたと感じるとともに、設計クライテリアをいま以上に高めていく必要性を感じています。

これからも、建築構造設計事務所に在籍する技術者の視点で、関西支部の活動を盛り上げたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



関西支部 副支部長

「2016年の半ばを過ぎて」
株式会社日建設計
吉澤 幹夫

2016年の半ばを過ぎました。今年は明るいニュースが飛び込んでくるように願っておりましたが、4月に熊本地震が発生しました。熊本地震によって亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

このたびの熊本地震では、震度7の地震が2回発生したことや地震地域係数の課題などが浮き彫りになってきました。これまでの耐震基準変遷の歴史と同様に、熊本地震での教訓を基に基準が強化される可能性があり、今後注目されるところです。

また昨年12月18日に国土交通省から公表された「超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動への対策案について」の意見募集は2月29日に締め切られました。寄せられた意見を踏まえて取りまとめられる対策の公表が、今後待たれるところです。

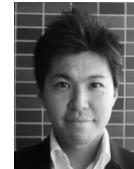
地震に強い安全で安心なまちづくりの根幹を担うのは、私たち構造技術者の真摯な活動であると考えます。小倉支部長・横田副支部長とともに関西支部の活動を一層盛り上げて行きたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「JSCA関西構造デザイン発表2016」

関西支部
技術委員長
田邊 太一



6角形 時々 5角形
～アリーナと武道場を
多角形でデザインする～
神戸学院大学附属高校
㈱ 日建設計
朝日 智生



立体鋼管キールトラスが
創る「躍動感・軽快さ」
松江市総合体育館
㈱日建設計
佐々木 隆允

はじめに

5月19日 建設交流会館グリーンホールにおいて、JSCA関西支部の恒例行事となっております「JSCA関西構造デザイン発表会」を開催致しました。

本年も、JSCA関西の会員のみならず、将来の構造設計者である、関西の建築構造を学ぶ学生にも参加を呼びかけ、200名を超える方々にご参加いただきました。

発表作品

今回は、昨年度より、2作品多い15作品の応募をいただきました。

応募作品の建物用途は、体育館等のスポーツ施設が4件、庁舎や企業本社ビル等の事務所施設が4件、その他、商業施設から、消防組合本部、厩舎、水族館、歴史建造物の外観保存まで、多岐にわたっています。

また、構造種別も、鉄骨造、鉄骨造キールトラス、RC造、免震構造、木造、既存レンガ造の外壁面を残したRC造とバラエティー豊かな作品が集まりました。

優秀賞と特別賞

応募作品の何れもが、予算・規模・工期・法規等のきびしい条件の下、応募者が創意工夫され、プロジェクトの実現に漕ぎつけた力作でした。

単純に優劣はつけられませんが、発表者の励みになると考え、今回は聴講者の投票による優秀賞4件と特別賞1件を選出しました。

発表会の後、発表者を招待して行われた懇親会で、受賞作品の表彰を行いました。

受賞作品の概要については、以降の段で紹介しております。

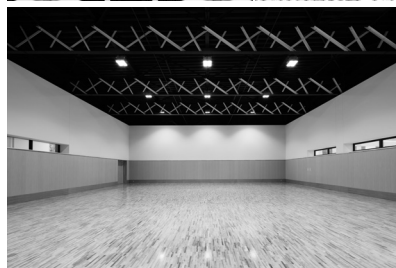
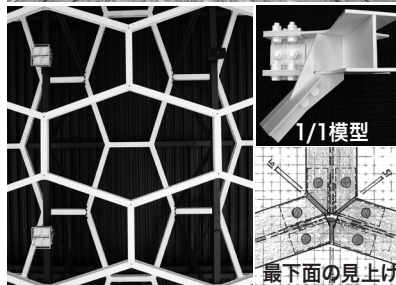
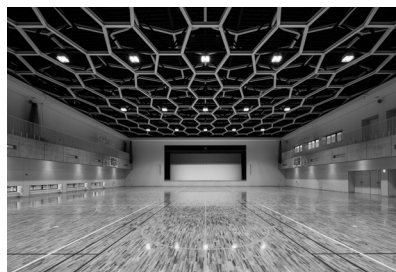
おわりに

JSCA関西デザイン発表会は、来年以降も継続して実施する予定です。皆様の積極的なご参加を期待しております。

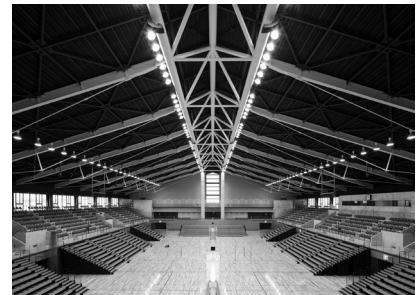
最後になりましたが、今回、応募して頂いた発表者の皆様をはじめ、学生に参加を呼びかけて頂いた各大学の先生やスタッフの皆様、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

アリーナの天井を見上げると、**6角形**の集合体で構成した2つの平面が互いに直交して重なり、交差部に**5角形**が見え隠れする。「生命感」「躍動感」を表現する校章（梅花）をモチーフに構造体を多角形でデザインした。幾何学的“かたち”を作るため、最も重要視したのは、接合部である。施工性に配慮した上で、接合部をいかに軽く、単純化できるかがポイントと考えた。「ロールHにボルト接合」を基本に、**6角形**を構成する部材と補助部材でトラス架構を形成し、部材に働く力に強弱をつけることで目線に近い最下面の接合部を全て同一形状のデザインでまとめた。

一方、武道場は、上下弦材のカットティに対して、幅と長さの異なる2種類のアングル（斜材）を同一面で交互に、表裏対になるよう配置することで校章を連想させる**5角形**を忍ばせつつ、トラス架構を形成した。短いアングルは、長いアングルの座屈補剛の役割を果たしている。

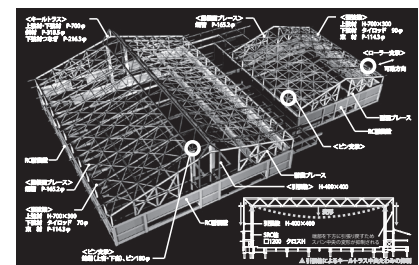


本建物は、背景の山々に溶け込む切妻屋根が特徴の体育館である。アリーナ内部はその形状を生かして、翼を広げ飛び立つ千鳥をイメージさせる、軽快で躍動感あふれる空間を目指した。



「シンプルに、軽やかに、美しく」

屋根架構は、アリーナ中央にスパン約70mのキールトラスを設け、その両側に張弦梁を架けた構造とした。キールトラスの設計では「シンプルさ」を心掛けた。シンプルな架構は美しく、大空間構造特有の建方時の大きな変形を予測・制御することが容易になると考えたためである。キールトラスはほぼ単純梁であるが、バックステイとなる引張柱を設けてトラス中央の変形を抑制している。トラス断面は高さ4.0mの三角形で、その頂点に上下弦材が配置されている。上下弦材と斜材には鋼管を採用し分岐継手によって組み合わせることで、滑らかで美しいトラスを実現するとともに、応力に応じて板厚の厚い鋼管を使うことで、見た目を変えずに適材適所の設計とすることが出来た。



シンプルな架構に加え、鋳鋼によるピンディテールや張弦梁などの細やかな作り込みによって軽快さを追求した。さらに、施工時解析や施工計画の工夫などの現場の方々の多大なご協力により、軽快で躍動感あふれる空間が実現できた。



ウェブ・ウォール構造
NIFREL (ニフレル)
株式会社竹中工務店
大阪本店
荒木 為博



大型ショッピングセンター
の魅力的な大庇の設計
ニトリモール枚方SC
株式会社竹中工務店
大阪本店設計部
大野 正人



企業理念をイメージした
外観にフィットした構造計画
田辺三菱製薬本社ビル
株式会社大林組
大阪本店構造設計部
北山 宏貴

1. はじめに

2015年11月に大阪府吹田市にオープンした体感型ミュージアム「NIFREL」の外観デザインは生物を連想させる有機的なフォルムに多孔質な開口を配置した建物を創り出すというデザインコンセプトを基に計画された建物である。この外観に「ウェブ・ウォール構造」を採用し、建築主の想いを形にするために、設計・構造・設備・作業所・協力会社が一体となって実現したものである。



写真1 「NIFREL」

2. ウェブ・ウォール構造の概要

「ウェブ・ウォール構造」とは鉄筋コンクリート造の壁に斜めの網目状(グリッド状)に複数の開口を設けた耐力壁を有する構造形式である。

この構造形式は菱形開口形状に対して合理的な斜め配筋を採用し、耐震性能を満足させながらも、インパクトのある外観と有機的なフォルムを持つ建物を計画できた。また、多孔質な外壁は展示空間の演出や通気、採光にも配慮した内部空間を実現することができた。



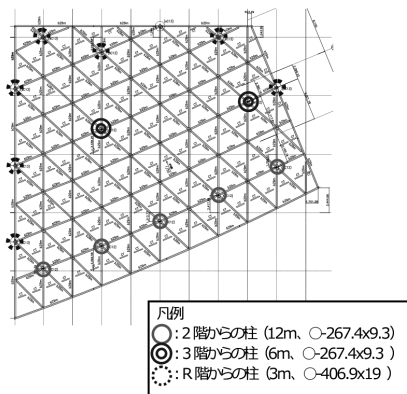
写真2 内部空間

施工面においても、多孔質なRC耐震壁と曲面を有するRC壁の面精度を確保することで、耐震性とデザイン性を兼ね備えた有機的なフォルムを現実した。

ニトリモール枚方は、延床面積73,000㎡、1,2階に店舗、3,R階に駐車場を有する大型ショッピングセンターである。ここでは、一般的なモールと異なり、屋外に通路を設ける「アウトモール形式」を採用した。アウトモールは建物正面に位置付けられ建物のイメージに大きな影響を与えるため、高いデザイン性が求められた。特に中央に位置する大庇はこの建物の象徴的な存在として位置付けられた。



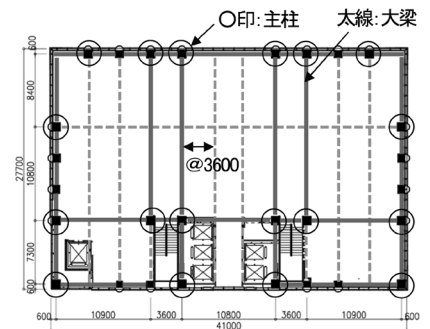
庇の構造は、鉄骨造純ラーメン構造である。下図に示すように柱は、φ267.4×9.3とφ406.9×19、梁はH-294×200×8×12としている。柱長さは3種類あり、R階から立ち上がるφ406.9×19に地震力を集中的に負担させる計画とした。そうすることで、正面の柱を無駄のないスレンダーな柱とし、建物の象徴となるような空間を創出することができた。



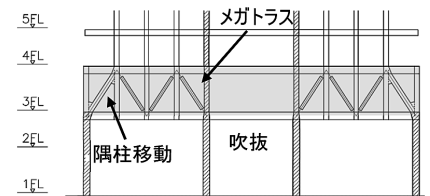
企業理念「世界の人々の健康をやさしく包み込む手」を象徴した外観デザインは手の指に見立てた柱が外周面に@3600で林立し、内部はフレキシブルなオフィスを提供する無柱空間とするプランであった。



まず、外周柱について、鉛直荷重を支持する主柱と水平荷重を負担する耐震間柱に分離し、@3600が小梁スパンとなるように柱・大梁を合理的に配置した。



また北側の吹抜空間の剛性を確保するため、“手のひら”を表現する3階外周部にメガトラスを配置し、水平剛性を確保するとともに、隅柱の位置移動に対する水平抵抗要素としても利用した。



五條市総合体育館建設工事 現場見学会参加報告



株式会社
ティーエムアーク
松浦 敏彦

1.はじめに

2016年3月11日(金)、JSCA関西奈良会として、「五條市総合体育館新築工事現場見学会」が開催された。

本建物は、地域文化の発信基地を目指した体育館(集会場)として建設中である。

2.建物概要

工事場所:奈良県五條市上野町246番地

階数:地上2階

建物高さ:23.20m

敷地面積:167,000.21㎡

建築面積:4,445.19㎡

延べ床面積:5,031.5㎡

建物用途:体育館(集会場)

構造:RC造、S造、木造の混構造

建築主:奈良県五條市

設計監理:株式会社たかの建築事務所

設計監修:東海大学工学部建築学科

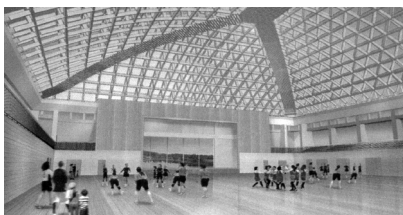
杉本洋文 教授

構造監修:中田捷夫研究室

施工:村本・田原特定建設共同企業体



鳥瞰パース



内観イメージ

3.見学会報告

京奈和自動車道の五條西ICを降りると、山の中腹から建物の中心に存在感のあるタワークレーンが設置された工事現場を見下ろすことができる。



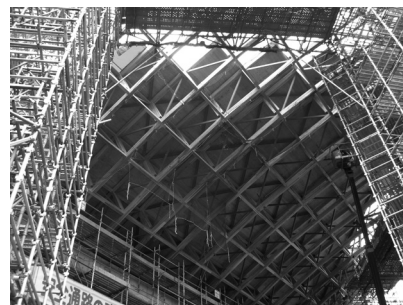
現場全景

まずは、現場事務所にて設計監理者や施工管理者から建物の設計及び工事の概要をビデオなどによる説明の後、場内に出て実際に現場を案内して頂いた。

(1)構造計画概要

下部構造は、屋根構造(木造トラス+鉄骨キールトラス)に対して、応力的および剛性的に影響を及ぼさないように、強固な鉄筋コンクリート造としている。

外部を鉄筋コンクリート柱・耐力壁にて構成、頂部には屋根を支持するための巨大な水平拘束梁(プレストレスト鉄筋コンクリート造)を配置。その水平拘束梁の上に木構造のトラス屋根を載せている。アリーナの屋根構造は、奈良県の県産材(スギ材を基本とし、応力的に厳しい箇所「下屋棟部」のみマツ材等を使用)を最大限に利用することを目指して、生産可能な断面形状と長さとする制約を受けた中で要求規模の空間を実現するために、木部材を格子状に直交接合したフィーレンディール(梯子状)骨組とし、「最適化の手法」による最低限のブレースを配した変則木造トラスと、それらを補強するために対角線上に架け渡した鉄骨キールトラス梁で構成されている。



木造トラス設置状況

(2)工事概要

本建物は、混構造で複雑なため、モックアップ(原寸模型)を活用されていた。

木造トラス部については、予め1ブロックを工場にて組立てることにより、各部の寸法計測による精度確認や上部に吊りこむことで下部からのみえがかり状況なども確認できたと説明頂いた。

また、RC造部分の配筋の納まりにおいて、「ハイパーネット」を採用し、取付け部のコンクリートに対し流動性の確認なども行われていた。



モックアップ見学状況

4.まとめ

現場では、支保工などが必要最小限にとどめられており、施工の合理化が図られていた。

メインである木造トラスの構成であるが、スパン50mの大きな木質屋根の必要な性能を確保するためハイブリッド構造が採用されている。

そのため鉄骨梁と木部材の接合部が多数必要になるが、クロスピン接合(鋼棒挿入型ドリフトピンで一体化)によりディテールの複雑化を解決している。

この接合方法はシステムとして幅広く展開可能であると考えられ、この先各種の接合部に展開していくための良き先例となるプロジェクトであると考えられる。

今後の設計業務に参考していきたいと感じた。

最後に、お忙しい中、説明をしていただきました皆様、企画して頂きましたJSCA関西奈良会の方々に、書面をもって、改めてお礼申し上げます。

以上

■JSCA関西支部2015年度事業報告書

(2015年4月～2016年3月)

- 1.2015年度支部総会 5/22 建設交流館 出席者63名(委任状295通)
- 2.支部幹事会 5/15, 11/17
- 3.四役会 4/24, 5/15, 6/9, 7/10, 8/6, 9/11, 10/2, 11/17, 12/4, 1/15, 2/5, 3/4
- 4.事業委員会 4/23, 6/3, 6/17, 7/2, 7/15, 7/30, 8/31, 10/6, 11/4, 11/16, 1/8
- 5.技術委員会 4/14, 4/27, 6/22, 8/24, 10/26, 12/21, 2/22
- 6.広報委員会 4/17, 7/16, 9/19, 10/16, 1/14
- 7.耐震診断・補強判定委員会関西支部会 4/16, 5/21, 6/18, 7/16, 8/20, 9/17, 10/15, 11/19, 12/17, 1/21, 2/18, 3/17
- 8.木造住宅レビュー委員会 4/1, 6/3, 10/7, 10/22, 11/24, 12/15, 1/25, 2/3
- 9.定例研究会 5/22 建設交流館「非(?)構造部材の構造(?)設計」
参加者150名
- 10.大震研委員会
 - ・JSCA中国支部総会並びに講演会・技術発表会 6/5
 - ・2015年第1回報告会 10/24
 - ・WG活動 WG1 7/14, 8/27, 9/17, 10/16, 3/11
WG2 6/22, 7/13, 7/28, 8/21, 9/18, 11/20, 1/29
WG3 5/28, 6/17, 8/27, 11/24, 12/2, 12/14, 2/9, 3/30
WG4 5/12, 6/2, 7/6, 8/18, 9/7, 9/29, 10/13, 11/2, 12/1, 1/12, 2/15
- 11.見学会 9/17 成人病センター現場見学 参加者34名
12/11 中之島フェスティバルタワー・ウェスト
現場見学 参加者30名
- 12.視察研修 11/13～14 阪神淡路大震災から20年目の淡路島
参加者22名
- 13.支部報 Structure Kansai No.125, 126, 127, 128 発行
- 14.技術委員会各分科会
 - ・地盤系分科会 4/22, 7/22, 10/21, 12/16
 - ・RC分科会 4/17, 6/19, 9/11, 11/27, 2/27, 3/18
 - ・金属系分科会 4/22, 8/26, 12/9
 - ・耐震設計分科会 4/17, 7/31, 12/8
 - ・PC・工業化分科会 6/4, 8/26, 12/10, 3/10
 - ・木構造分科会 4/1, 6/3, 8/5, 10/7, 12/2, 2/3
 - ・法制分科会 4/14, 5/19, 7/29, 9/29, 12/2, 2/17, 3/2
 - ・構造計画分科会 4/8, 5/28, 1/14
 - ・情報システム分科会 7/15, 9/16, 11/26, 1/20
- 15.サテライト活動
 - ・奈良会 3/11 (仮称)五條総合体育館 現場見学会 参加者17名
 - ・京滋会 11/27 京都大学教授 竹脇先生の講演会 参加者29名
- 16.定期講習会
 - ・7/4 科学技術センター「自然の想定外を考える」 参加者90名
- 17.講習会
 - ・「木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会」
4/1, 6/3, 10/7, 12/2, 2/3
 - ・出版記念講習会「設計者のための見落としはならない非構造部材」
7/30 参加者 52名
 - ・JSCA関西構造デザイン発表会 8/28 参加者 135名
 - ・2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書DVD講習会
10/19, 10/21, 10/23, 10/27, 10/29
 - ・新年研究会 JSCA賞受賞者講演 1/8 参加者106名
 - ・「若手技術者育成講座」 2/26 参加者 23名
- 18.親睦会
 - ・定例研究会懇親会 5/22 建設交流館 参加者 109名
 - ・JSCA関西構造デザイン発表会懇親会
8/28 建設交流館 参加者 60名
 - ・大震研懇親会 10/24 ハオキッタン 参加者 25名
 - ・賀詞交歓会 1/8 建設交流館 参加者 112名
 - ・京滋会懇親会 11/27 アパホテル京都駅前 参加者 16名
 - ・奈良会懇親会 3/11 いこ～屋 参加者 14名
- 19.研究受託
 - ・大阪建築物震災対策推進協議会 限界耐力計算レビュー委託業務
- 20.他団体への委員・講師の派遣
委員派遣
 - ・大阪府「大阪府耐震改修促進計画審議会」 横田友行
 - ・大阪市「大阪市耐震改修支援機構」
上田尚延, 小倉正恒, 野島千里, 横田友行
 - ・京都市「京町家耐震診断レビュー委員会」 榎原健一, 田村佳英
 - ・神戸市「耐震改修検討委員会」 瀬川輝夫, 久森敏平, 山田正人
 - ・日本建築総合試験所「建築構造性能評価委員会」
近藤一雄, 田代靖彦, 山浦晋弘
 - ・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之

- ・日本建築総合試験所「判定助言委員会」
小倉正恒, 近藤一雄, 西村勝尚, 前野敏元, 横田友行, 吉澤幹夫
- ・日本建築総合試験所「建築技術性能認証委員会」 松尾雅夫
- ・日本建築総合試験所「コンクリート工実務研修委員会」 上森 博
- ・大阪建築防災センター「耐震改修評価委員会」 緑川 功
- ・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 小倉正恒
- ・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議会」 横田友行
- ・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正
- ・兵庫県建築士会「専攻建築士審査評議会」 山田正人
- ・大阪工業大学「専門委員会」 横田友行

講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会」 福本義之
 - ・大阪府建築士会他「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」
小倉正恒, 北山宏貴, 鈴木直幹, 横田友行
 - ・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)」
野島千里, 横田友行
 - ・奈良県建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」
榎原健一, 横田友行
 - ・尼崎市「建築技術研修会」 熊野豪人, 西崎隆氏, 増田寛之, 村上陸太
- ### 21.関連団体との交流
- ・在阪建築関連15団体事務局会議 9/9, 3/16
 - ・在阪建築関連15団体会長・支部長午餐会 10/26
 - ・在阪建築関連15団体2016年新年交礼会 1/4

■JSCA関西支部2016年度事業計画書(案)

(2016年4月～2017年3月)

- 1.2016年度支部総会 5/19 建設交流館グリーンホール
- 2.支部幹事会 5/10, 秋頃実施予定
- 3.四役会 4/7, 5/10, 6/14, 7/5, 8/2, 9/6, 10/4, 11/1, 12/6, 1/10, 2/7, 3/7
- 4.事業委員会 4/28, 随時
- 5.技術委員会 4/25, 以降1回/2ヶ月 開催予定
- 6.広報委員会 4/14, 以降1回/各季 程度
- 7.大震研委員会 2015年度第2回報告会4/23, 随時実施予定
- 8.構造レビュー委員会 随時実施予定
- 9.木造住宅レビュー委員会 4/6, 以降随時実施予定
- 10.耐震診断・補強判定委員会関西支部会 1回/月 実施予定
- 11.定例研究会 5/19 建設交流館グリーンホール
- 12.新年研究会 1月実施予定
- 13.現場見学会 随時実施予定
- 14.視察研修 1回/年 実施予定
- 15.支部報 Structure Kansai No.129, 130, 131, 132 発行予定
- 16.技術委員会各分科会
 - ・地盤系分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・RC分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・金属系分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・情報システム分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・耐震設計分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・PC・工業化分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・構造計画分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・木構造分科会 6回/年 程度実施予定
 - ・法制分科会 6回/年 程度実施予定
- 17.技術委員会拡大分科会
 - ・各分科会により1回/年 程度実施予定
- 18.サテライト活動
 - ・奈良会 1回/年 程度実施予定
 - ・京滋会 1回/年 程度実施予定
 - ・兵庫会 1回/年 程度実施予定
- 19.賛助会員技術交流会 随時実施予定
- 20.講習会
 - ・「木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会」
4/6, 随時実施予定
 - ・「JSCA構造設計若手実務者研修」 秋頃実施予定
 - ・「定期講習会」 7月実施予定
 - ・「若手技術者育成講座」 2月実施予定
 - ・「スキルアップセミナー」 夏頃実施予定
- 21.親睦会
 - ・支部総会懇親会 5/19 建設交流館
 - ・賀詞交歓会 1月実施予定
- 22.研究受託
 - ・大阪建築物震災対策推進協議会 限界耐力計算レビュー委託業務

23.他団体への委員・講師の派遣
委員派遣

- ・大阪府「大阪府耐震改修促進計画審議会」 横田友行
- ・大阪市「大阪市耐震改修支援機構」 上田尚延, 小倉正恒, 野島千里, 横田友行
- ・神戸市「耐震改修検討委員会」 瀬川輝夫, 山田正人
- ・京都市「京町家耐震診断レビュー委員会」 樫原健一, 田村佳英
- ・日本建築総合試験所「判定助言委員会」 小倉正恒, 近藤一雄, 西村勝尚, 前野敏元, 横田友行, 吉澤幹夫
- ・日本建築総合試験所「建築構造的な評価委員会」 近藤一雄, 田代靖彦, 山浦晋弘
- ・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之
- ・日本建築総合試験所「建築技術性能認証委員会」 松尾雅夫
- ・日本建築総合試験所「コンクリート工実務研修委員会」 上森 博
- ・大阪建築防災センター「耐震改修評価委員会」 緑川 功
- ・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 小倉正恒
- ・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議会」 横田友行
- ・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正

- ・兵庫県建築士会「専攻建築士審査評議会」 山田正人
- ・大阪工業大学「専門委員会」 横田友行

講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会」 福本義之
- ・大阪府建築士会他「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」 小倉正恒, 北山宏貴, 鈴木直幹, 横田友行
- ・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)」 野島千里, 横田友行
- ・奈良県建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」 樫原健一, 横田友行
- ・尼崎市「建築技術研修会」 未定

24.関連団体との交流

- ・在阪建築関連15団体事務局会議 秋頃
- ・在阪建築関連15団体会長・支部長午餐会 秋頃
- ・在阪建築関連15団体2017年新年交礼会 1/4

■2016年度支部役員及び委員

●幹事

- 支部長 小倉正恒 (清水建設) :支部担当理事
- 副支部長 横田友行 (能勢建築構造研究所)
- 幹事 吉澤幹夫 (日建設計)
- 上田博之 (竹中工務店)
- 上森 博 (日本設計)
- 神沢宏明 (鴻池組)
- 田代靖彦 (日建設計)
- 竹島剛均 (鹿島建設)
- 寺田均 (昭和設計)
- 西村勝尚 (大林組)
- 細野久幸 (SDネットワーク) :本部担当理事
- 榎田洋敏 (ティエムアーク)
- 松浦敏彦 (満田衛資構造計画研究所)
- 満田衛資 (山田建築構造事務所)
- 宮崎英也 (大林組)
- 安井雅明 (安井建築設計事務所)
- 山浦晋一 (大成建設)

- 監査 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 辻 幸二 (日本建築総合試験所)

- 支部顧問 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 角 彰弘 (日本建築総合試験所)
- 尾 俊谷 (イオリ建築設計事務所)
- 辻 英一 (安井建築設計事務所)
- 馬 瀬芳 (馬瀬構造設計事務所)
- 八木 貞樹 (八木建築構造研究所)

- 事務局 嶋崎敦志 (大林組)
- 秋田智 (安井建築設計事務所)
- 伊藤敦 (日建設計)
- 伊藤祥二 (大林組)
- 岩佐裕一 (日本建築総合試験所)
- 大植奈緒子 (コンステック)
- 貝谷淳一 (能勢建築構造研究所)
- 木下隆嗣 (東畑建築事務所)
- 九嶋壮一郎 (竹中工務店)
- 橋本健 (清水建設)
- 石原邦子 (JSCA大阪事務所)

●事業委員会

- 委員長 上田博之 (竹中工務店)
- 委員 上森 博 (日本設計)
- 島野幸弘 (竹中工務店)
- 塚越治夫 (日建設計)
- 富澤健 (大林組)
- 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 山崎英一 (大成建設)
- 山本康一郎 (能勢建築構造研究所)

●技術委員会

- 委員長 田邊太一 (鴻池組)
- 委員 福本義一 (大林組) ...RC
- 前川元伸 (大林組) ...PC・工業化
- 塚越裕夫 (日建設計) ...金属系
- 野澤裕和 (竹中工務店) ...耐震設計
- 川口正人 (清水建設) ...地盤系
- 篠原昌寿 (フレームワークス) ...情報システム
- 原由典 (竹中工務店) ...構造計画
- 岸松本 (竹中工務店) ...法制
- 上田尚延 (日本建築総合試験所) ...木構造

●広報委員会

- 委員長 代 靖彦 (日建設計)
- 委員 秋田智 (安井建築設計事務所)
- 慶祐一 (竹中工務店)
- 大川正明 (鹿島建設)
- 丸興司 (Ka構造設計事務所)
- 軸丸久 (日建設計)
- 田辺太一 (鴻池組)
- 中村篤明 (大林組)
- 橋本浩二 (北條建築構造研究所)
- 平石浩明 (イオリ建築設計事務所)
- 柳沢信行 (竹中工務店)
- 山田細香 (山田建築構造事務所)
- 吉田能功 (大林組)
- 吉田聡 (日建設計)

●構造レビュー委員会

- 委員長 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
- 浦 翼利 (うらたつみ建築技研)
- 榎原健一 (SERB)
- 日下哲雄 (竹中工務店)
- 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 新保勝浩 (ネオフォルム構造技研)
- 角 彰弘 (日本建築総合試験所)
- 辻 幸二 (日本建築総合試験所)
- 福北國夫 (防災科学技術研究所)
- 北條稔郎 (北條建築構造研究所)
- 政木武志 (フォルムふぉらむ)
- 榎田洋子 (桃李舎)
- 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 森八木貞樹 (八木建築構造研究所)
- 安井雅明 (大林組)
- 横田友行 (能勢建築構造研究所)
- 吉澤幹夫 (日建設計)

●木造住宅レビュー委員会

- 委員長 横田友行 (能勢建築構造研究所)
- 委員 石田健吾 (コンプロエンジニアリング)
- 内田利恵子 (建築設計室Morizo)
- 上田尚延 (日本建築総合試験所)
- 大崎修 (大崎建築設計事務所)
- 小倉正恒 (清水建設)

- 榎原健一 (SERB)
- 北山宏貴 (大林組)
- 鈴木直幹 (竹中工務店)
- 田村佳英 (悠計画研究所)
- 鳥羽瀬公二 (鳥羽瀬社寺建築)
- 野島千里 (野島建築設計事務所)
- 榎田洋子 (桃李舎)
- 大震研委員会
- 委員長 西村勝尚 (大林組)
- 委員 園田隆一 (安井建築設計事務所) ...WG1
- 上田博之 (竹中工務店) ...WG2
- 福本義之 (大林組) ...WG3
- 前野敏元 (竹中工務店) ...WG4

●危機管理委員会

- 委員長 辻 幸二 (日本建築総合試験所)
- 委員 渡辺勸 (ワメ設計)
- 近藤一雄 (東畑建築事務所)

●定期講習WG

- 嶋崎敦志 (大林組)
- 鈴木直幹 (竹中工務店)
- 吉澤幹夫 (日建設計)

●耐震診断委員会関西部会

- 部会長 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 副部会長 嶋崎敦志 (大林組)
- 委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
- 浦 翼利 (うらたつみ建築技研)
- 小倉正恒 (清水建設)
- 榎原健一 (SERB)
- 日下哲雄 (竹中工務店)
- 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 辻 幸二 (日本建築総合試験所)
- 原 克己 (元 摂南大学)
- 前野敏元 (竹中工務店)
- 峯 隆俊 (峯構造技術研究室)
- 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 森田秀喜 (安井建築設計事務所)
- 八木貞樹 (八木建築構造研究所)
- 安井雅明 (大林組)
- 横田友行 (能勢建築構造研究所)
- 吉澤幹夫 (日建設計)

●編集委員会関西部会

- 部会長 白沢吉衛 (日建設計)
- 委員 青木浩幸 (熊谷組)
- 阿波野昌幸 (近畿大学)
- 新井康輔 (能勢建築構造研究所)
- 大塚太志 (竹中工務店)
- 小倉正恒 (清水建設)
- 田邊太一 (鴻池組)
- 富澤健 (大林組)
- 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 山崎英一 (大成建設)

●国際委員会(本部)

- 委員 嶋崎敦志 (大林組)

●事務局だより

1. 2016年度支部総会

日時: 5月19日(木) 13:30~14:30
場所: 建設交流館
人数: 64名(委任状302通)

2. 幹事会

日時: 5月10日(火) 18:00~20:00
場所: 安田ビル地下会議室

3. 四役会

日時: 4月7日(木) 18:00~20:00
場所: 安田ビル2階JSCA関西事務局
日時: 5月10日(火) 17:00~20:00
場所: 安田ビル2階JSCA関西事務局
日時: 6月13日(火) 18:00~20:00
場所: 安田ビル2階JSCA関西事務局

4. 事業委員会

日時: 4月28日(木) 18:00~19:00
場所: 安田ビル2階JSCA関西事務局

5. 技術委員会

日時: 4月25日(月) 18:00~19:00
内容: 1. 前回事業報告の確認
2. 各分科会の活動報告
3. 構造デザイン発表会準備
日時: 6月27日(月) 18:00~19:00(予定)
内容: 1. 前回事業報告の確認
2. 各分科会の活動報告
3. その他

6. 広報委員会

日時: 4月14日(木) 18:00~19:00
場所: 日建設計B2会議室
内容: 1. Structure Kansai NO. 130号 編集会議
2. Structure Kansai NO. 131号 企画会議
日時: 7月11日(月) 18:00~19:00(予定)
場所: 日建設計B2会議室
内容: 1. Structure Kansai NO. 131号 編集会議
2. Structure Kansai NO. 132号 企画会議

7. 耐震診断・補強判定委員会関西支部会

日時: 5月26日(木) 18:00~21:00(予定)
場所: 安田ビル地階会議室
内容: 耐震診断・補強計画判定の報告
日時: 6月16日(木) 18:00~20:00(予定)
場所: 安田ビル地階会議室
内容: 耐震診断・補強計画判定の報告

8. 木造住宅レビュー委員会

日時: 3月7日(月) 13:00~16:00
場所: (株)SERB 会議室
内容: JSCA関西マニュアル第6部のチェック
日時: 4月6日(水) 13:30~17:30
場所: 安田ビル地階会議室
内容: JSCA関西マニュアル第6部の設計事例による実務講習会
日時: 6月1日(水) 17:30~18:30
場所: 安田ビル2階会議室
内容: 大阪府建築士会からの講師依頼について
日時: 6月17日(金) 13:30~17:30
場所: 大阪府建築健康会館6階ホール
内容: JSCA関西マニュアル第6部の設計事例による建築技術講習会

9. 大震研委員会

- 大震研委員会報告会
日時: 4月23日(土) 14:00~17:00
場所: 御堂ビル イチョウホール
議題: 2015年度第2回成果報告
- WG1(地震動・基礎)
日時: 4月22日(金) 18:00~20:30
場所: 安田ビル2階会議室

議題: 「A5ゾーンにおける上町断層帯地震と生駒断層帯地震の応答性状の比較」について
日時: 6月3日(金) 18:00~20:00(予定)
場所: 安田ビル2階会議室
議題: 活動報告会

- WG2(RC系)
日時: 4月11日(月) 18:00~19:30
場所: 安田ビル地下会議室
議題: 第2回報告会に向けて
日時: 5月27日(金) 18:00~予定
場所: 安田ビル2階会議室
議題: 今年度の活動について
- WG3(S系)
日時: 6月14日(火) 18:00~
場所: 安田ビル地下会議室
議題: 中空円形鋼管柱の局部座屈による耐力劣化を考慮した解析モデルについて
CFT柱の劣化領域を考慮した解析モデルについて
上町断層帯地震動による地震応答解析例

- WG4(免震構造)
日時: 3月7日(月) 18:00~20:00
場所: 竹中工務店 大阪410会議室 東京7E会議室(TV会議)
内容: 衝突解析結果検討資料 建物重量、擁壁(等価)剛性、衝突速度と応答増大の関係図 免震構造の擁壁衝突時の挙動
日時: 4月4日(月) 18:00~20:00
場所: 竹中工務店 大阪410会議室 東京7E会議室(TV会議)
内容: 2016年度建築学会論文 衝突実験と応答解析の比較 2015年度WG4報告書目次(案)
日時: 5月16日(月) 18:00~20:00
場所: 竹中工務店 大阪403会議室 東京7C会議室(TV会議)
内容: 2016年度活動テーマ 2016年度活動項目案整理

10. 定例研究会

日時: 5月19日(木) 14:45~17:45
場所: 建設交流館
内容: JSCA関西構造デザイン発表会 2016

11. 支部報

Structure Kansai
No.129(2016.04)発行
No.130(2016.07)発行(予定)

12. 技術委員会各分科会

- 地盤系分科会
日時: 3月16日(水) 18:00~20:00
場所: (株)コンステック会議室
内容: 1. 「建築基礎構造設計規準・同解説」改訂の動向
2. 「SEIN Pile」の概要と杭の2次設計について

○RC分科会

日時: 3月18日(金) 18:00~19:30
場所: JSCA関西支部会議室
内容: 「RC規準の改定について」、「高強度せん断補強筋UHYフープについて」

○金属系分科会

日時: 5月24日(火) 18:00~19:30
場所: 日建設計地下1階会議室
内容: 鉄骨造の普及・発展に向けた日本鉄鋼連盟の取組(JFEスチール・飯谷さん)

○耐震設計分科会

日時: 6月17日(金) 15:00~17:30

場所: キュービー神戸工場(神戸市東灘区深江浜)作業所
内容: 作業所見学会
1. 埋立地(深江浜)での液状化対策
2. 免震構造、柱RC梁S構造
3. サイトPCを用いた省人化

○PC・工業化分科会

日時: 3月10日(木) 18:00~20:00
場所: 大林組 6階会議室2
内容: PC構造紹介ビデオ 高知県立高知城歴史博物館の設計・施工

○木構造分科会

日時: 4月6日(水) 18:45~20:30
場所: 安田ビル 地階 会議室
内容: 1. 「第6部 構造設計・耐震診断・耐震補強設計事例について」
2. 「某幼稚園の概要報告」
3. 「最近の悩み事」

○法制分科会

日時: 4月19日(水) 15:00~17:00
場所: 安井建築設計事務所
内容: コストコ多摩境店事故の構造設計者有罪問題の意見交換会
日時: 6月21日(火) 15:00~17:00
場所: 安井建築設計事務所
内容: 建築法制に関する最新情報紹介と意見交換

○構造計画分科会

日時: 4月12日(火) 18:30~19:50
場所: 竹中工務店B1階T'sイノベーションサロン
内容: 「過大入力対策としての高強度鋼材の活用」
日時: 7月12日(火) 18:30~20:00(予定)
場所: 竹中工務店B1階T'sイノベーションサロン
内容: 「米子市公会堂(村野藤吾設計)の耐震補強」について ※拡大分科会として開催予定

○情報システム分科会

日時: 4月8日(金) 18:00~19:30
場所: JSCA関西支部会議室B1会議室
内容: SuperBuild/SS7について

13. サテライト活動

- 京滋会 活動なし
- 奈良会 活動なし

14. 講習会

・木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会
日時: 4月3日(水) 13:30~18:00
場所: 安田ビル 地階 会議室
日時: 6月1日(水) 13:30~18:00
場所: 安田ビル 地階 会議室

15. 懇親会

日時: 5月19日(木) 18:00~19:30
場所: 建設交流館702号

●編集後記

ご多忙の中、執筆にご協力いただきました方々に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。今年の夏は猛暑と予想されております。皆様、お体ご自愛ください。(慶、大川)

発行 (一社)日本建築構造技術者協会 関西支部事務局
〒550-0003
大阪市西区京町堀1-8-31 (安田ビル)
Tel 06-6446-6223 Fax 06-6446-6224
Mail jscaweb@kansai.email.ne.jp
URL http://jscakansai.com/